

# はじめに

二・二八事件は台湾史における重要な歴史的イベントです。1947年2月27日、闇タバコを取り締まりが発端となって、台湾全土で抗議デモが発生しました。最終的に政府の武力鎮圧により、数えきれないほどの死傷者と行方不明者が出ました。その後も、政府が1949年に発令した戒厳令によって市民の逮捕投獄が続き、数十年にわたる白色テロと呼ばれる時代が始まりました。

高雄は二・二八事件で最初に武力鎮圧された地域で、1か所での死傷者数と処刑者数が最多という悲惨な記録が残されています。現在の高雄市立歴史博物館（旧高雄市政府）は、事件の重要な歴史的現場であるため、この場所で歴史的な出来事を再現することには、大きな意味があります。

二・二八事件は高雄市民にとって歴史的に重要な集合的記憶となっています。本展は犠牲者を追悼して一緒に歴史を振り返るほか、歴史を超えて自由、民主、人権という普遍的価値の未来に向かって進むことを目指しています。

記念スタンプ

二・二八事件  
台湾の重大な歴史的瞬間を目撃

二二八  
0306

主管

高雄市政府文化局  
Bureau of Cultural Affairs Kaohsiung City Government

主催

高雄市立歴史博物館  
KAOHSIUNG MUSEUM OF HISTORY

来館案内

高雄市立歴史博物館

803003 高雄市塩埕区中正四路272号

開館時間 | 火曜日から日曜日まで 09:00~17:00 (毎週月曜休館)

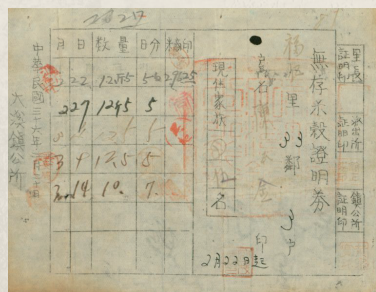
電話 | 07-5312560 サイト | <http://khm.org.tw>



1945年10月25日、台北公会堂（現在の中山堂）にて、降伏文書調印式が行われました。写真は台湾省行政長官の陳儀が受け取った日本の降伏文書。（本館所蔵KH1999.004.007）

## A 二・二八の時代に戻る

第二次世界大戦後、台湾は中国政府の統治下となり、日本統治時代から脱却した台湾人は当初、さまざまな機会の到来を期待していました。しかし、台湾省行政長官公署の体制や統治政策には無理があり、さらに戦後の経済政策の失策が重なって物価が高騰し、多くの失業者が出ました。台湾社会全体が動揺する中、ついに1947年2月27日の夜、台北における闇タバコを取り締まりが発端となって、国民が政府に抗議する二・二八事件が勃発しました。



1947年2月の無存米穀証明書（米の在庫がないことを示す証明書）当時は米不足が深刻で、買い占めを防ぐため、配給制度の実施前に「無存米穀証明券」が必要でした。（本館所蔵KH1999.004.037）

## B 高雄の二・二八事件

二・二八事件の勃発後、台湾全土に処理委員会が組織され、反政府活動の平和的な解決が模索されました。しかし、高雄は国民政府の援軍が到着する前に、最初に武力鎮圧された地域で、その後の展開に大きな影響を与えることになりました。1947年3月6日、7名の和平交渉団が彭孟緝と交渉するために寿山の高雄要塞司令部を訪れると、彭孟緝は交渉団の代表を軟禁し、軍を送り込んで高雄市政府、高雄駅、高雄第一中学校などを制圧し、多くの市民が無実の死を遂げました。



当館は重要な歴史的現場の一つとして、台湾で初めて二・二八事件のシーンを劇場型のミニチュアで表現しています。ミニチュアと映像で歴史的事件の経過をシミュレートしています。



高雄市立歴史博物館の前身は日本統治時代の高雄市政府所で、戦後に高雄市政府となりました。また、二・二八事件の重要な歴史的現場でもあるのです。（本館所蔵KH2021.033.0002-0006A）

## C 歴史の真相を振り返る

二・二八事件の期間、台湾各地で突発的かつ自発的な抗議デモが発生しましたが、次々と軍隊に鎮圧され、数えきれないほどの犠牲者が出ました。その後、「綏靖清郷（治安回復・農村掃討）」作戦が展開され、逮捕、自首の強要、銃による公開処刑などが人々の心を震撼させました。人々は恐怖に陥り、戦慄に震えて押し黙りました。二・二八事件が徐々に語られるようになったのは、戒厳令が解除されてからのことでした。本エリアは、台湾南部を中心とした二・二八事件の被害者とその家族の苦境と悲しみを記録し、歴史の真相を再現しています。